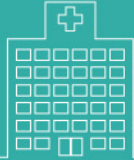


八鹿病院 ニュース

2009年
7月

公立八鹿病院基本理念

『私たちは、地域中核病院として、医の倫理を基本に、質の高い医療と優れたサービスをもって、住民の健康を守り、地域の発展に尽くします。』



インフルエンザ
流行の前に

「肺炎球菌ワクチン」の 予防接種を受けましょう。

インフルエンザは 肺炎で重症化する

今年の秋から冬にかけて新型インフルエンザの大流行が予想されます。高齢者や免疫力の低下した人では肺炎を起こし重症化するため、特に注意が必要です。



重症化予防に 肺炎球菌ワクチン

重症化の予防のために肺炎球菌ワクチンが有効と考えられています。1回の接種で5年以上の効果があり、費用は7250円です。



2つのワクチン接種で 予防しよう

さらに、インフルエンザワクチンとの併用でより高い効果が得られます。2つのワクチンは、1週間以上の間隔をあけて接種を受けてください。

※必要な方には肺炎球菌ワクチンのパンフレットを配布しています。詳しくは内科外来までお問い合わせください。



【お問い合わせ】
公立八鹿病院 内科外来

～肺炎球菌ワクチン接種をおすすめしています～

心臓や呼吸器の
慢性疾患の方



腎不全や
肝機能障害の方



糖尿病の方



高齢者
※特に65歳以上



公立八鹿病院 副院長
内科 片山 覚

潜んだ病変を発見する 最新の**気管支鏡** 検査システム

公立八鹿病院 内科 寺下 聡

昨年12月から最新の気管支鏡検査を導入しています。これらの新システムはとりわけ肺がんの早期診断に役立つと考えられています。



「肺がん」 がんによる死因第1位は

肺がんはわが国において現在がんによる死因の第1位となっており、特に肺がんは発見される時期によって生存率が大きく異なってきました。そのため、完治できる可能性が高い早期の段階での診断・治療が重要となります。

肺の中は迷路のように 細かく枝分かれしている

肺がん検診などで胸部レントゲン・CT検査において「異常」が見つかった場合、気管支鏡検査を行います。気管支鏡検査では、胃カメラと同じように約6ミリの管を口または鼻から挿入し、気管支の内部をカメラで観察したり組織や細胞・細菌の一部を採取し診断を確定します。

しかし、気管支は迷路のように細かく枝分かれしているため病変部位は非常にわかりにくく、従来の気管支鏡検査だけでは、正確な診断をするのは困難なことでした。

最新の気管支内視鏡検査 システムでスムーズな検査

1 三次元で肺の状態を
確認できる

仮想気管支鏡気管支ナビゲーションシステムでは、元となるCT画像から、三次元の気管支画像を見ることが出来ます。

さらに、対象となる病変の位置がわかるため、自動車のナビゲーションのように病変部位までの気管支内のルートを確認することができ、気管支の分岐点なども事前にシミュレーションすることが出来ます。

正確な診断ができない

手術で不要な
部分まで切除

急激な増大
知らぬ間に転移

2 超音波で正確な 検体採取ができる

1のナビゲーションシステムと共に、「経気管支肺末梢エコーガイドシース法」や「超音波気管支鏡ガイド下針生検法」を使い、従来の内視鏡では届かなかつた細い気管支内の病変でも、超音波を使用することで、病変の位置を確実に特定・組織採取することが出来ます。

これらのシステムを使用することで、短時間かつ患者さんへの負担が少なく検査ができるようになります。

予防と検診が大切

肺がんの発生には喫煙との密接な関わりがあり、まず予防のために禁煙に努めることが重要です。早期の肺がんは自覚症状がでにくいため、早期発見のために肺がん検診を受けることをお勧めします。「異常」が見つかった場合には、適切な治療を早期に出来るよう、確実に安全な気管支鏡検査を施行することをスタッフ一同心がけております。



光干渉断層計 (OCT) を使用した

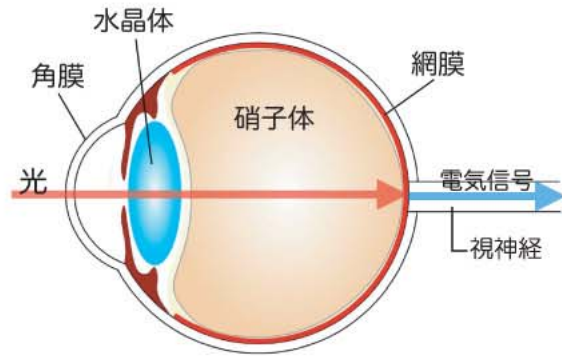
眼底検査

公立八鹿病院 眼科 佐々木勇二



今年春から眼科外来に最新鋭の眼底検査装置である光干渉断層計(以下OCT)が導入されました。

眼はとても精密で
繊細なもの



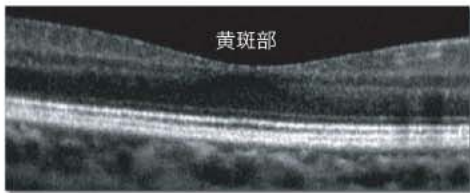
人間は「ものを見る」ことによって外の情報の90%を得ています。「見る」ことは生活する上で非常に大切な機能であり、眼はこの機能をはたすために透明で精密な構造をしています。

外の光(情報)は右図のように角膜、水晶体、硝子体を通り、網膜で電気の信号にかえられ、視神経を経て脳に伝えられます。したがって、この経路のどこかに異常があると外の情報が脳に正確に伝達できなくなります。

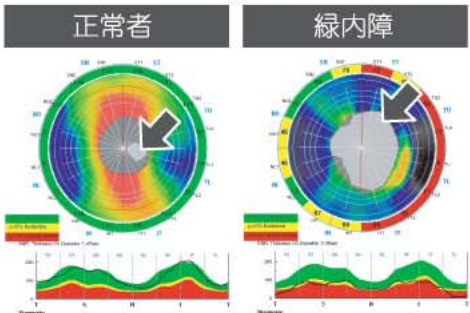
より精密な検査ができる
「OCT」

OCTとは、主に網膜の構造を精密に検査するために開発された最新の検査機器です。

これまでの眼底検査に使用されていた眼底カメラとの違いは、眼底カメラが網膜表面の状態を撮影するのに対して、OCTでは網膜の断面を拡大して撮影したり、網膜の厚さを正確に測定することができ、表面から見てもわからなかった浮腫や神経線維の減少等の網膜の異常が発見できるようになりました。それによって、緑内障や糖尿病網膜症といった失明につながる眼の病気の正しい診断や治療方針の決定が可能になりました。



▲OCTによる網膜の断面図



▲矢印部分が大きくなることで視野が狭くなる。その進行状況が詳しくわかる。

検査時間は
数秒以内で終了する

OCT検査はアゴと額を固定し機械の中をのぞくだけのごく簡単な検査です。検査にかかる時間は、眼底カメラとほとんど変わらず、数秒以内で終了し、目の負担も少なく検査を受けていただけます。

多機能OCTで
早期発見・治療

今回ご紹介したOCTは、他にも多くの検査機能があり、今後、網膜や視神経の病気の早期発見・診断・治療にとっても有用な情報が得られると期待されています。

眼の病気の中には、緑内障のように病状が進行するまで自覚症状が少ないものもあるため、発見が遅れる可能性がります。一度減少した視神経は元に戻らないので、早期発見と早期治療による進行予防がとても大切です。

整形外科診療体制変更のお知らせ

7月以降、整形外科医師が3名から2名となり、今までの診療体制が維持できない状況となり、下記の通り診療体制が大幅に変更となります。

大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

新患について

当面の間、医療機関からの紹介状をお持ちの患者さんのみの診察に限らせていただきます。

必要な場合は、お近くの医療機関を通じてご予約をお取りください。

※患者さん個人からの窓口・電話・ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ・FAXでの予約はお受けできません。

患者さんについての制限

医療機関からの紹介状をお持ちの患者さん、当院の総合診療科を受診された患者さんで整形外科への受診が必要な患者さんのみ受診していただけます。

整形外科へ通院中の患者さんへ

病状の安定された方で、慢性的な症状のある患者さんは、地域の病院やクリニックへの受診をお願いする場合があります。

首や肩の痛み各種神経痛で通院中の患者さんは、当院のペインクリニック外来での治療継続が可能です。ペインクリニック外来受診希望の方は、お気軽に整形医師・看護師にご相談ください。

ペインクリニック外来とは？

痛みの治療を行う診療科です。腰痛、下肢痛、頭痛、顔面痛、首・肩の痛みなど「イタイ」あるいは「不快」な症状などが診療対象となります。

【診察日】月・火・金

新しく着任された先生のご紹介

～よろしくお祈りします～



【麻酔科】 6月1日付

とみ かつじ

富 勝治 先生

当院麻酔科の歴史を守りながら、安全な麻酔管理と快適な手術室環境の維持に努めます。



【内科】 6月1日付

やまぐち こうすけ

山口 耕介 先生

初めて但馬に足を踏み入れました。若輩者ですが、宜しくお願いします。



【外科】 7月1日付

あらい ようすけ

荒井 陽介 先生

但馬の医療に少しでも貢献できるように頑張ります。よろしくお祈りします。

退任された先生のご紹介

お世話になり、ありがとうございました

4月30日付

【内科】

水守 康之 先生

5月31日付

【内科】

牧野 晴彦 先生

6月30日付

【産婦人科】

木内 誠 先生

【整形外科】

村岡 智也 先生

【小児科】

吾郷 耕彦 先生

小児科休日診療終了のお知らせ

小児科休診に伴い、平成21年6月14日(日)をもちまして、**小児科休日診療も終了**することとなりました。ご理解とご協力をお願いいたします。



児童精神科

白瀧 貞昭 先生

こどもたちを支える「児童精神科」

子どもたちの心の不健康は早期治療がカギです。心配でお困りのことがありましたらお気軽にご相談ください。

【診察日】 毎週水曜日(完全予約制)